

令和5年8月4日  
東広島市立松賀中学校

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について

令和5年4月18日（火）、全国の小学校第6学年及び中学校第3学年の全児童生徒を対象に実施された令和5年度全国学力・学習状況調査の調査結果が8月2日（水）に、国立教育政策研究所から公表されました。

この調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的としています。さらにそのような取り組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立するために実施するものです。

今回の結果から本校の生徒がどこで躓き、何ができていてどこに課題があるのかを明確に把握し、検証し、目標、指導内容・指導方法、評価計画等を一貫して見直すとともに、組織的・計画的に授業を振り返り、日常的な授業改善に取り組んでいきます。

各教科の平均正答率（％）の比較

	松賀中	東広島市	広島県	全国
国語	76.2	72.6	70.0	69.8
数学	53.8	53.4	49.4	51.0
外国語 (英語)	46.1	42.0	43.1	45.6

各教科の無回答率（％）の比較

	松賀中	東広島市	広島県	全国
国語	3.4	3.0	3.9	4.6
数学	7.4	6.2	8.5	9.6
外国語 (英語)	4.8	4.4	5.1	5.7

1 国語の調査結果の概要と今後の取組

平均正答率が県、全国を約6%上回っており、おおむね満足できると考えられる。しかし、「知識及び技能」の「(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項」において文脈に応じた漢字を当てはめる問題が、全国平均43.9%に対し、本校平均は41.8%であり、2%下回っていた。

この結果を受けて、基本的な漢字の読み書きの指導に留まらず、場面に応じ、適切な語を選択して使う場面を設定し、指導していく。

無回答率は、県・全国平均を下回っており、生徒が意欲的に問題に向き合おうとする姿が読み取れる。

学習指導要領の領域並びに評価の観点における各区分の平均正答率（％）

分類	区分		松賀中	東広島市	広島県	全国
	全体		76.2	72.6	70.0	69.8
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	66.8	66.6	65.5	67.5
		(2) 情報の扱い方に関する事項	70.0	67.1	64.0	63.4
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	78.5	77.8	75.1	74.7
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	90.6	85.9	83.4	82.2
		B 書くこと	67.7	65.1	63.2	63.2
		C 読むこと	75.5	68.1	64.9	63.7
評価の観点	知識・技能	72.7	71.5	69.2	69.4	
	思考・判断・表現	78.8	73.3	70.7	69.7	

## 2 数学の調査結果の概要と今後の取組

学習指導要領の内容において、B 図形、C 関数、D データの活用の3つの内容で、市・県・全国平均を上回っている。A 数と式の内容については、県・全国平均は上回っているものの、市平均より4ポイント下回っており、今後の課題とされる。また、評価の観点においては、思考・判断・表現においては市・県・全国平均を上回り、知識・技能においては、県平均のみ上回っている。

この結果を受けて、特に計算技能が十分には定着していないことが考えられる。授業での計算演習やプリントでの反復演習、家庭学習の定着をより一層進めていくことで、課題への改善に努めていく。

無回答率は、県・全国平均を下回っており、生徒が意欲的に問題に向き合おうとする姿が読み取れる。

学習指導要領の領域並びに評価の観点における各区分の平均正答率（％）

分類	区分	松賀中	東広島市	広島県	全国
全体		53.8	53.4	49.4	51.0
学習指導 要領の内容	A 数と式	61.8	65.8	61.4	63.0
	B 図形	40.8	34.0	31.1	33.2
	C 関数	55.9	55.4	50.4	51.2
	D データの活用	50.8	49.3	46.6	48.5
評価の観点	知識・技能	54.8	56.9	53.5	55.7
	思考・判断・表現	51.9	46.4	41.4	41.6

## 3 外国語（英語）の調査結果の概要と今後の取組

学習指導要領の領域のうち、3領域のうち、「聞くこと」においては、市・県を上回り、「読むこと」においては、市・県・全国平均を上回っている。また、評価の観点においては、知識・技能においては、市・県を上回り、思考・判断・表現においては、市・県・全国を上回っている。概ね、平均は上回っているものの、いずれも60%に達していない。特に、「書くこと」においては、市・県を上回っているが、平均正答率が22%と今後の課題である。

この結果を受けて、授業において書く必要性のある事項を取り上げ、自分の考えとその理由、まとまりのある文章を書く場を設定する等、早急に授業を改善する必要がある。

無回答率は、県・全国平均を下回っており、生徒が意欲的に問題に向き合おうとする姿が読み取れる。

学習指導要領の領域並びに評価の観点における各区分の平均正答率（％）

分類	区分	松賀中	東広島市	広島県	全国
全体		46.1	42.0	43.1	45.6
学 習 指 導 要 領 の 内 容	聞くこと	57.2	53.9	55.1	58.4
	読むこと	55.1	48.9	50.1	51.2
	話すこと	—	—	—	—
	書くこと	22.0	19.4	20.3	23.4
評価の観点	知識・技能	50.1	47.1	48.7	51.5
	思考・判断・表現	41.7	40.6	36.9	38.8

#### 4 生徒質問紙の回答結果の概要と今後の取組

##### ① 基本的な生活習慣の定着

規則正しい生活は、成長過程の生徒にとって大切である。本校の取組の一つとして、「3点固定」を生徒に身に付けさせたい。「3点固定」とは、1日のスケジュールのうち、起床時間、家庭学習開始時間、就寝時間の三つの時間を毎日固定するという考え方である。自分で決められる時間を固定し、生活を規則正しくすることは、自分自身をコントロールする力の育成につながる。自分自身をコントロールする力は、進路を実現させるための受験勉強はもちろん、社会人になって仕事に取り組むようになった時に欠かせない重要な能力である。本校では、この力を育成するために今後とも、継続的にアンケート等を実施し、把握し、各家庭に協力を得られるよう連携を密にしていきたい。

関連する質問事項の肯定的回答の割合 (%)

質問番号	質問事項	松賀中	広島県	全国
(1)	朝食を毎日食べている	93.7	91.7	91.2
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ている	85.4	81.1	78.0
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きている	95.4	92.7	91.3
(16)	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含みます)	65.5	56.1	55.0

##### ② 自他を尊重する集団の育成

これからのグローバルな時代を生きていく生徒たちが、国際社会で活躍し、豊かな社会を形成していくことが求められている。生徒たちが自分のよさに気付き、自信をもち、他者と積極的に関わって豊かな人間関係を築いていく力を高めることが大切である。その土台となるのが、自己肯定感・自尊感情である。本校では、納得と評価による生徒指導を機能的に継続して取り組んでいきたい。

関連する質問事項の肯定的回答の割合 (%)

質問番号	質問事項	松賀中	広島県	全国
(4)	自分には、よいところがあると思う	86.4	83.0	80.0
(5)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う	91.8	88.1	87.3
(7)	将来の夢や目標を持っている	76.4	70.2	66.3
(8)	人が困っているときは、進んで助けている	96.4	88.7	88.1
(11)	人の役に立つ人間になりたいと思う	98.2	95.3	94.6
(13)	自分と違う意見について考えるのは楽しい	87.3	79.0	77.6
(14)	友達関係に満足している	88.2	89.4	88.7

##### ③ 思考力・判断力・表現力の向上

知識基盤社会の到来や、グローバル化の進展など急速に社会が変化する中、次代を担う子どもたちには、幅広い知識と柔軟な思考力に基づいて判断することや、他者と切磋琢磨しつつ異なる文化や歴史に立脚する人々との共存を図ることなど、変化に対応する能力や資質が一層求められている。本校では、この力を付けるために昨年度に引き続き学びの質を高めるため、相手に理解してもらえるように「表現すること」に視点を置いた授業改善を全教職員で取り組んでいる。基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するための力を生徒に付けるため全教職員で研修をさらに進めていきたい。

関連する質問事項の肯定的回答の割合 (%)

質問番号	質問事項	松賀中	広島県	全国
(36)	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	59.1	57.3	62.1
(37)	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	81.8	79.7	79.2
(38)	授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた	76.3	70.5	69.1
(40)	学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	90.0	81.0	79.7
(45)	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる	80.9	74.2	71.6